

(別紙様式)

(A3判横)

令和4年度学校自己評価システムシート (滑川町立宮前小学校)

目指す学校像	「ほら、できた!」「やった!できた!みてみて!」の声があふれる学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 学力、体力の向上 2 豊かな心の育成、基本的な生活習慣の確立 3 開かれた学校づくり(応援したくなる学校づくり) 4 教育の質の向上を図る働き方改革
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 5名 事務局(教職員) 2名
-----	-------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標			年度評価(2月1日現在)				
番号	現状と課題●	評価項目	具体的方策(◎重点)	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○授業規律や学習意欲・態度については概ね良好である。</p> <p>○各種学力調査結果の活用を活用した授業改善サイクルが機能している。</p> <p>●<u>タブレットPCの効果的な活用の研究を積み重ねていくことが課題である。</u></p> <p>●<u>学習指導要領の主旨を踏まえた指導実践と改善を重ねていくことが課題である。</u></p> <p>●<u>コロナ禍で運動や体をつかった遊びの機会の減少による体力の低下、体の使い方の不慣れさの懸念がある。</u></p>	<p>学力の向上</p> <p>体力の向上</p>	<p>◎感染症対策に万全を期して、教育活動を推進する。</p> <p>◎主体的対話的で深い学びを目指した授業づくりを推進する。</p> <p>◎<u>タブレットPCの活用実践を重ね、その効果的な方法を研究する。</u></p> <p>○「家庭学習のすすめ」「ターナちゃんノート」を活用し、家庭学習の充実を実現する。</p> <p>○特性に触れた喜びを味わわせる体育授業を創造する。</p> <p>◎<u>課題への挑戦回数、機会を保障する体育授業と体育活動を実践する。</u></p>	<p>○学校評価に係る保護者対象アンケートで、「学力向上」に関し9割以上が好意的な評価したか。</p> <p>◎<u>タブレットPCを活用した効果的な実践事例を整理することができたか。</u></p> <p>○<u>体育授業において子どもたちが挑戦する回数・挑戦する時間の保障に向けた取り組みを共有したか。</u></p>	<p>○「学力向上」に係る項目で、保護者78%の好意的評価となった。</p> <p>◎<u>タブレットPCをはじめとした、ICT危機を活用した学習指導の実践を積み重ね、効果的な取組の整理を継続できている。</u></p> <p>○家庭学習旬間(スタディウィーク)を新設し、年間3回実施した。</p> <p>○水泳学習を計画通り実施し、すべての学年で、水に親しむための機会を保証した。</p>	B	<p>○ウィズコロナに向けた学校行事、学校教育活動の確立を図っていく。</p> <p>○「主体的対話的で深い学び」を実現する授業改善を継続していく。</p> <p>○「個別最適な学び」を支えるタブレットPCの活用をさらに進めていく。</p> <p>○「おもいっきり○○する」を意識した体育活動、遊び、体験を実施していく。</p>
2	<p>○<u>新型コロナウイルス感染症対策に起因する子どものストレスに留意して教育活動を推進する必要がある。</u></p> <p>○自己有用感の育成、傾聴の指導は、<u>成果が継続されている。</u></p> <p>●<u>校外でのあいさつ、丁寧な言葉遣いに課題がある。</u></p> <p>●<u>自己有用感の育成、傾聴の指導を継続する。</u></p> <p>●<u>ケース会議等、校内の連携充実を図るとともに関係諸機関の連携強化を継続する。</u></p>	<p>豊かな心の育成</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>◎家庭訪問、電話連絡、相談日等により、児童の心情と学習・生活の状況を把握し、よさを認め、励ます。</p> <p>○自己有用感の育成、傾聴の指導の連鎖を実現する。</p> <p>◎<u>相手に伝わるようなあいさつの仕方の指導を継続する。</u></p> <p>◎<u>研修により課題のある児童に対する指導力の向上を実現する。</u></p> <p>◎<u>校内ケース会議の実施による校内支援体制と指導方略の構築・共有・協働をより明確にする。</u></p> <p>○教育委員会、健康福祉課、保健センター、嵐山学園、民生委員等関係諸機関との連携を強化する。</p>	<p>○児童、保護者対象のアンケートで、基本的な生活習慣の確立に関し9割以上が好意的に評価したか。</p> <p>○学校自己評価で、児童像の育成に関して全職員が成果を認められたか。</p> <p>○<u>校内支援体制の充実と関係諸機関との連携により、課題を解決したか。</u></p>	<p>○基本的な生活習慣については、保護者の「集団生活のルール」「充実した学校生活」の2項目で9割以上の好意的評価を得た。児童の評価はすべての項目で8割を超える評価であった。</p> <p>○児童の「やった!できた!」の声を増やそうとする教職員の姿が多くあった。</p> <p>○生徒指導委員会の定期開催に加え、さわやか相談員、SSW、SC、おh研センター保健師との情報共有から多面的な課題解決への方策を進めることができた。</p>	A	<p>○傾聴の指導を継続していく。</p> <p>○「味方になる大人が必ずいる」ことのメッセージを継続して発信していく。</p> <p>○あいさつに係る学校評価項目が低い評価となり、「相手につたえる」挨拶を、具体的な場面や行い方を取り上げ、指導を重ねていく。</p> <p>○校内支援体制、関係機関との連携を引き続き密にしていく。</p>
3	<p>○「開かれた学校」について好意的な評価を継続して得ている。</p> <p>●<u>授業参観は実施できたが、地域への公開ができなかった。</u></p> <p>○見守り活動、奉仕作業、資源回収など保護者・地域の方から多くの支援をいただいている。</p> <p>●<u>PTAと「(仮称)おやじの会」による奉仕作業を令和3年度は3回実施できた。さらに応援の輪を広げていく。</u></p>	<p>開かれた学校づくり(応援したくなる学校づくり)</p>	<p>○学校の方針を丁寧に説明する。</p> <p>◎<u>スピード感のある対応を徹底する。</u></p> <p>○保護者や地域住民の意見や不安に自分の言葉で応え、丁寧に説明し、合意形成を図る。</p> <p>○家庭訪問、電話連絡、相談日等により、児童の心情と学習・生活の状況を把握し、よさを認め、励ます。(再掲)</p> <p>○関係諸機関と連携し、要保護児童等の課題や懸案事項を解決する。</p> <p>◎<u>教職員に「学校が地域のランドマークとなる」ことの意識付けを図る。</u></p>	<p>○保護者等対象のアンケートで、「開かれた学校」に関し、9割以上が好意的に評価したか。</p>	<p>○ボランティア会議、PTA常任委員会、PTA総会、入学説明会で本校の特長、方針について児童の様子をもとに説明することができた。</p> <p>○「開かれた学校」に係る項目で、8割超の好意的な評価を得た。</p> <p>○学校HPの更新を進めていく。</p> <p>○開校150周年記念事業を実施できた。</p>	A	<p>○児童の「やった!できた!」の姿を積極的に発信し、それをもとに本校教育活動の指導方略について説明を重ねていく。</p> <p>○ボランティアの活動を継続していく。</p> <p>○学校HPの更新を進めていく。</p> <p>○学校の公開の機会を増やしていく。</p>
4	<p>○出勤退勤時刻を把握し、<u>仕事の優先順位の意識等、タイムマネジメントの意識が出てきている。</u></p> <p>○SSS(スクールサポートスタッフ)の活用を推進している。</p> <p>●<u>80時間/月を超える時間外在校時間の職員がいる。</u></p> <p>●<u>全教職員で知恵を出し合い、業務改善を図る必要がある。</u></p> <p>●<u>教育の質の維持・向上のための「働き方改革」を意識し、行事の精選や教職員の意識改革を進める。</u></p> <p>●<u>保護者や地域の方へも取組の理解を得られるようにする。</u></p>	<p>教育の質の向上を図る働き方改革</p>	<p>○持ち帰り残業を含めた勤務実態の把握を正確に行う。</p> <p>◎<u>保護者・地域への説明を丁寧に行う。</u></p> <p>◎<u>カエル会議を定期的に開催し、職員の意見やアイデアを改善活動に反映させる。</u></p> <p>○行事の精選を大胆に進める。</p> <p>◎<u>80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にする。</u></p>	<p>○超過勤務時間を文部科学省上限ガイドライン(45h/m,360h/y)以内に収めたか。</p> <p>◎<u>80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にできたか。</u></p> <p>○教育の質を維持向上できたか。</p>	<p>○時間外在校時間を文部科学省(4月~12月)は、教職員平均値で、すべての月で前年を下回った。</p> <p>○80時間/月を超える時間外在校時間の職員は年間1人だった。</p> <p>○SSSの積極的、意図的な活用を図り、学級事務の処理に効果をあげている。</p> <p>○「ほら、できた!」⇔「意図のある教師行動」の見える実践が増えてきた。</p>	B	<p>○時間外在校時間を文部科学省上限ガイドライン45h/m,360h/y以内に収めていく。</p> <p>○80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にする。</p> <p>○「意図のある教師行動」の見える授業改善を進めていく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・教室の整理整頓ができており、掲示物もしっかり管理されている。</p> <p>・教員がタブレットPCの扱いに慣れてきており、必要な場面で使われている。</p> <p>・ICT機器が有効に活用されている。子どもたちも自在に使いこなしている。</p> <p>・児童の気づきを深め、学んだことを発表し、互いの良さを認め合い尊重する姿勢を育ててほしい。</p> <p>・板書は後ろからも見やすいように工夫改善をしてほしい。白地に黒の細字は見づらい。</p> <p>・引き続き学力の保障と心を育てることを第一に取り組んでほしい。</p>
<p>・子どもたちはたいへん落ち着いている。あいさつもよくしている。生活態度もよい。</p> <p>・児童が集中して学べるよう、指導方法を工夫してほしい。</p> <p>・掲示されている児童の作品から、児童の発想力や想像力が育まれていると感じる。</p> <p>・困っている人の思いや願いを感じ取ることのできる児童が育っている。</p> <p>・マスクをしているとどうしても声が聞き取りにくく、表情もわかりにくい。今後マスクを外していけるとよい。</p> <p>・田植え、稲刈り(5年)は実施できたが、できない行事もあった。今後、子どもたちの思い出に残るような行事が実施できるようになるとよい。</p>
<p>・保護者からの意見を取り入れつつも、確固たる教育方針のもと、ぶれない姿勢で教育にあたってほしい。</p> <p>・学校として何を大切にしていけるのか、意思統一を図り、それを積極的に発信していくことが大切である。</p>
<p>・ICTを教材の選定等にも活用することで、業務の効率化や業務量の削減にもつながるのではないかと。</p> <p>・ワークライフバランスも考慮し、無理をせずに業務にあたってほしい。</p> <p>・ゆとりを持って子どもたちの前に立てるよう、在校時間を減らす工夫を続けてほしい。</p>